

麻生区大気環境濃度の調査結果

概 要

ダイオキシン類の大気環境濃度実態把握については、平成10年度から市内3地点及び市処理センター周辺28地点(平成12,13年度)で実態把握調査を行っている。平成10年度から12年度までは、いずれの地点も環境基準を満足していたが、平成13年度の市処理センター周辺28地点での測定結果において麻生小学校及び健康とふれあいの広場南側近傍の2地点で環境基準を超過した。

そこで、市としては緊急詳細調査を平成14年4月18の13時~19日の12時にかけて実施した。その結果下の表のとおり、麻生小学校は環境基準を満足したが、健康とふれあいの広場南側近傍は2.9~3.0 pg TEQ/m³(二重測定結果)を示し環境基準を大幅に超過した。

なお、表1に、過去の調査結果と緊急詳細調査結果の比較を、図1に位置関係を図示した。

したがって早急に大気ダイオキシン類の高濃度と環境基準超過の原因解明と今後の対応を図る予定である。

1 緊急詳細調査結果

表-1 ダイオキシン類の大気環境濃度緊急詳細調査結果 単位: pg TEQ/m³

NO	測定地点	平成12年度 (年平均値)	平成13年度 (年平均値)	緊急詳細調査 [平成14年4月18日(13:00)~4月19日(12:00)]	備考
1	稗原小学校	0.25	0.38		
2	菅生中学校	0.16	0.40		
3	長沢小学校	0.17	0.47		
4	西生田中学校	0.24	0.41		
5	麻生小学校	0.18	0.68	0.059~0.062	二重測定
6	金程小学校			0.054	
7	麻生区総合庁舎			0.052	
8	麻生中学校			0.077	
9	麻生スポーツセンター			0.063	
10	白山小学校	0.18	0.44		
11	虹ヶ丘小学校	0.32	0.42	0.23	
12	東柿生小学校	0.19	0.40		
13	王禅寺ふるさと公園	0.19	0.54	0.37	
14	日吉公園近傍	0.15	0.40	0.17	
15	健康とふれあいの広場南側近傍	0.48	1.1	2.9~3.0	二重測定
16	王禅寺処理センター内空缶貯留	0.16	0.23	0.24	

注; 緊急詳細調査については、平成13年度で環境基準を超過した地点を中心に実施した。

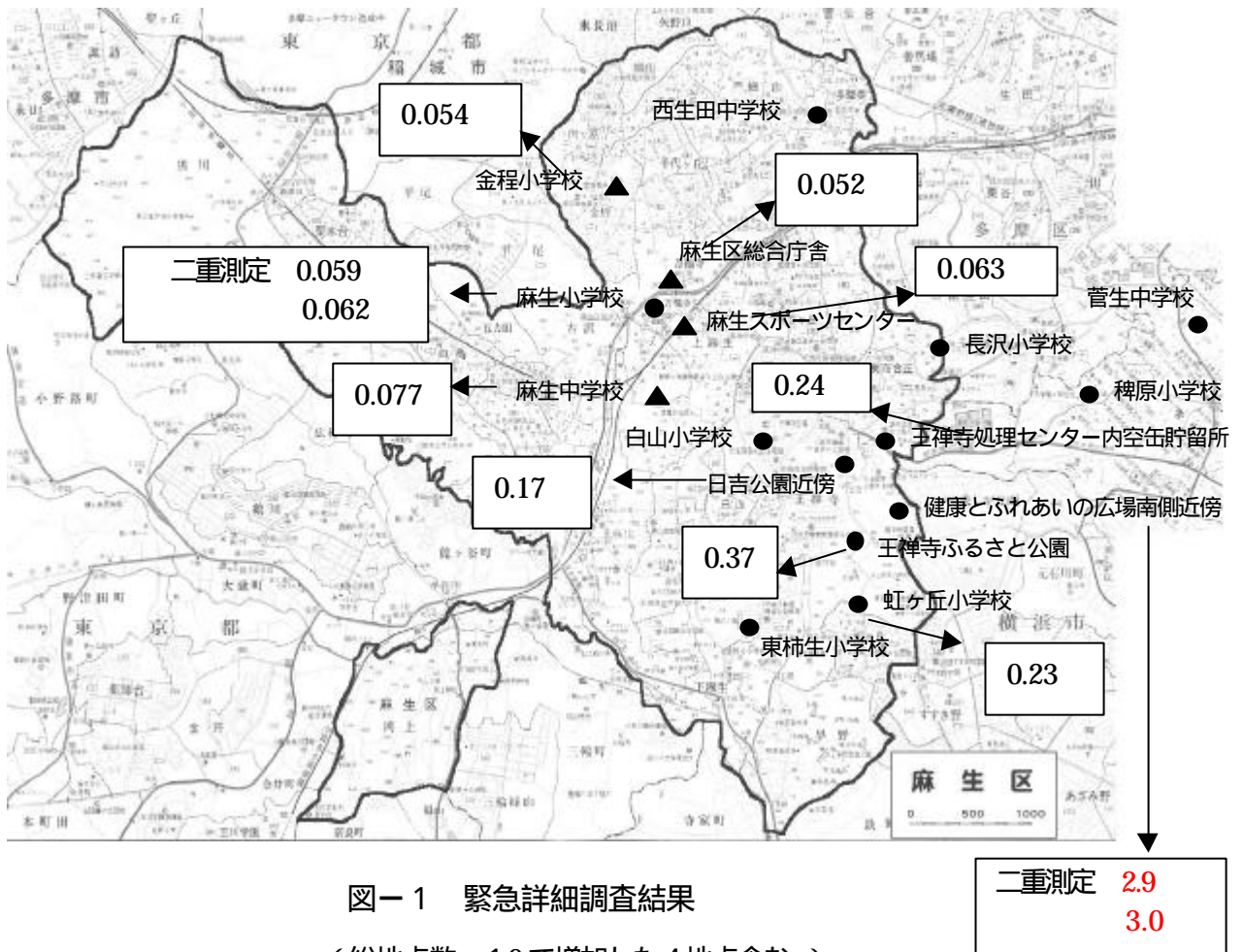


図-1 緊急詳細調査結果

(総地点数; 10で増加した4地点含む。)

- 単位; $\text{pg} - \text{TEQ} / \text{m}^3$
- 調査日; 平成 14 年 4 月 18 日~4 月 19 日 (24 時間サンプリング)
- 環境基準; $0.6 \text{pg} - \text{TEQ} / \text{m}^3$

2 対応(案)

市としては、緊急の詳細調査を実施したところ、麻生小学校は環境基準を満足したが、健康とふれあいの広場南側近傍で大気ダイオキシン類の環境濃度が、 $2.9 \sim 3 \text{ pg TEQ} / \text{m}^3$ を示し環境基準を大幅に超過した。

したがって、市は平成14年4月23日に立ち上げた『黒須田川流入水路等におけるダイオキシン類対策本部』において迅速な対応を行うとともに、学識経験者で構成する「専門家会議」を設置し、専門的見地から大気環境基準超過の原因解明と今後の対応を検討するものである。専門家会議の検討予定事項(案)を以下に示す。

